

参加学生の声：吉田 理紗さん(聖路加国際大学 看護学部看護学科)

大きなターニング
ポイントになった!



研修ごとに自分の成長を実感できました!

この半年間は、看護師として今後生きていく上で大きなターニングポイントになったと感じています。研修を重ねるごとに自分の成長も実感することができました。災害医療、災害看護は普段学べる環境が非常に少ない分野です。その中で本プログラムでは、災害サイクルのすべてに特化した学びの機会が提供されています。また、半年間という長期にわたり、同じように興味をもった学生とともに学べることも大きな魅力です。災害看護に興味を持っている人に、ぜひおすすめしたいです。

WEBで参加者の生の声を公開

参加者がプログラムでの学びや気づきを記録するブログを更新しています。ここでは紹介しきれなかった内容も掲載しているので、ぜひ一度ご覧ください。

下記URLまたは右記QRコードからアクセス!
TOMODACHI J&J DISASTER NURSING TRAINING PROGRAM
<https://tjdnt2015.wordpress.com/>



お世話になった方 江川 新一先生(東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野 教授)
増野 園恵先生(兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 所長/教授)

協賛 ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ

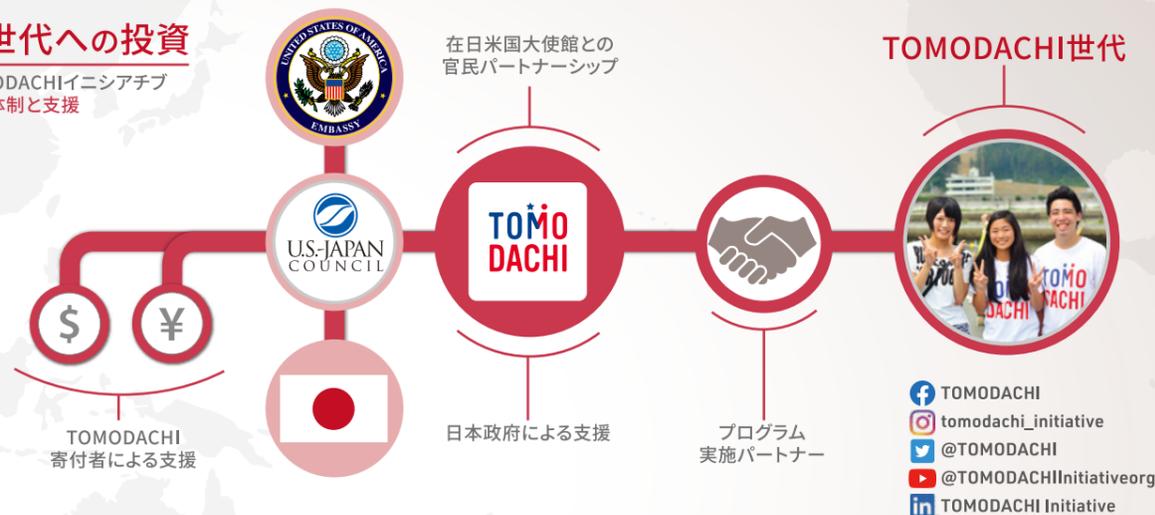


■ TOMODACHIイニシアチブについて

東日本大震災後の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す日米カウンシルと在日米国大使館が主導する官民パートナーシップで、日本国政府の支援も受けています。日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協動的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI世代」の育成を目指しています。詳細は、TOMODACHIイニシアチブのウェブサイト(www.tomodachi.org)をご覧ください。

次世代への投資

TOMODACHIイニシアチブ
組織体制と支援



※本資料に記載の情報が画像を、公益財団法人米日カウンシルージャパンやジョンソン・エンド・ジョンソンの許可なく、無断で転用することやSNS等で紹介することはお控えください。



TOMODACHI J&J 災害看護研修 プログラム 2022



災害看護研修プログラムとは？

医療面のケアだけでなく、心にも寄り添う看護従事者を育成します。

本プログラムは、次世代を担う看護学生が約半年にわたる研修を通して、自身の体験や教訓を生かし、災害や有事に対応する技能と知識を身に付け、将来災害看護分野を牽引するリーダーとして、学びを各地で広め、還元していくことで、日本の災害看護全体の基盤強化に貢献することを目指します。

プログラム2つの特徴

災害看護のプロがメンターに

医療従事者として、専門的な観点から学生の学びをサポートします。
 ※2022年度メンター 中山 洋子(群馬医療福祉大学看護学部)
 神田 知咲(兵庫県立大学地域ケア開発研究所)

卒業後は「アラムナイ」として続く学び

イベントやプログラムに参加することができ、仲間との交流や学び続けられる環境を提供します。
 ※プログラムが修了した参加者のことを、TOMODACHIイニシアチブでは「アラムナイ」と呼んでいます。

2023年1月のアラムナイイベントの様子



Step1 事前研修

- 6月 オリエンテーション
- 6月 事前研修① 仙台
- 7月 事前研修② 都内

米国研修に向けて、まずは日本の災害看護の基礎を学びます。石巻赤十字病院への訪問や東日本大震災を経験した語り部の方からのお話を通して、日本の災害について理解を深めていきます。また、国際災害医療関連の専門家によるトリアージ研修、メンタルヘルスクエアに関する講義、ワークショップなどを通じて、学びながら参加者の関係を築きます。



Step2 米国研修

- 8月 米国研修 ※2022年はオンラインで開催

米国研修のコーディネーター

——— チルドレンズ・ナショナル・ヘルス・システム ———



講師
サラ・パーチ
(DNP, APRN, CPNP-PC)

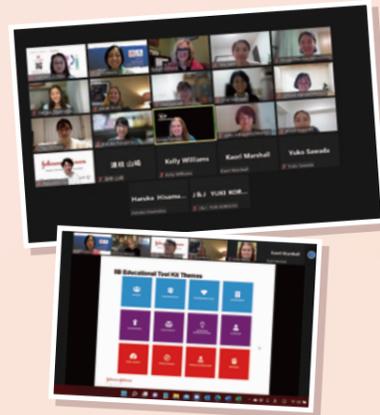


講師
エミリー・ドローズ
(MSN, RN, CPN, CPEN)



講師
ケリー・ウィリアムス
(MSN, RN, CEN, CPN, CPEN, NPD-BC, CNE, TCRN)

2週間にわたる米国研修では、災害医療や看護を専門とする施設や団体から講師を招き、災害から復興した米国のコミュニティを例に、医療従事者の役割や復興への道のりを学びます。また、患者への対応だけでなく、看護師のためのストレス軽減技術やマインドfulnessについても学習します。



Step3 事後研修

- 9月 事後研修 兵庫
- 10月 プロジェクト
- 12月 最終報告会 オンライン

リーダーシップについての講義や避難所の設営・運営について模擬体験を行います。また、プロジェクトや最終報告会でのアウトプットを通して、米国研修で学んだ知識やスキルを自分のものにします。看護という領域の中でリーダーシップを発揮し、他の人を巻き込みながら活躍していく人材への成長を促します。



香川 美咲さん (県立広島大学 看護学科)

語り部の方のお話を聞いて、災害や災害看護について自分事として受け取ることができました。

稲吉 光里さん (兵庫県立大学 看護学科)

災害現場でどんなことが起こりうるか、トリアージを体験して具体的に考えることができました。



岩永 理奈さん (聖路加国際大学 大学院看護研究科)

災害看護における倫理的問題について、自分の経験やリフレクションを通して、深く考えることができました。

藤井 実穂子さん (東京医科歯科大学 保健衛生学科 看護学専攻)

災害看護という分野のスペシャリティについて、自分たちがこれからの日本で発展させていきたいと強く思いました。



内田 彩希さん (東北大学 医学部 保健学科 看護学専攻)

リーダーシップに対する概念が変わり、自分にもできることがあるという自信が生まれました。

船島 遥さん (宮城大学 看護学群看護学類)

今回のプロジェクト『ぼうさいこくたい』に参加で、自分の学びを発信する力が大きく成長しました。

